

固定資産税課長  
資産税課長  
課税課長 殿  
税務課長  
税制課長  
県(市)税事務所長

日経東発第60012785号  
2019年4月22日

一般社団法人 日本経営協会  
理事長 平井 充則

**NOMA行政管理講座開催(ご案内)**

**木造家屋の評価の基本 (演習)**

～新任担当が一番はじめに評価計算を学べる講座！～

<2019年7月8日(月)・9日(火)>

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本会の事業活動には、平素より格別なご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

近年発刊された固定資産税に関する出版物の中でも大きな問題となっている、「地域間での評価の不均衡」「不透明な課税算定プロセス」等について、納税者には理解しにくいものになっているという指摘があります。

課税標準の基礎である価格は適正な時価であるとされていますが、それは総務大臣が定める固定資産評価基準によって納税者に税負担を求める基礎となる評価額を決定するものであり、適正かつ公平な評価計算が必須となることはいうまでもありません。

本セミナーは、家屋評価の基本である木造家屋の評価を短時間で集中的に行い、新任担当が明日からでも納税者に説明責任を果たし、プロとして評価計算ができるスキルを身につけていただけるよう、演習を中心にした内容となっております。

時節柄公務で多忙の折とは存じますが、この機会に関係者多数のご参加をおすすめ申し上げます。

敬 具

講座の  
ねらい

～事例で学ぶ家屋評価演習～

- 短時間で、木造家屋の仕組みについて要点をしっかりと解説します。
- システムを用いない手計算により、「事例」木造家屋の評点付設の基本から補正係数の算出までを評価計算できるよう、基本からしっかりと解説します。
- プロジェクターを使用し、部分別の写真・図を見ながら評価計算します。
- 平面図・調査確認事項等により、一棟の単位当たり再建築費評点数を算出します。
- 事例を元に、知っておきたい新築住宅減額を徹底研究します。
- 納税者への説明責任を果たす力をつけ、明日から実地調査・評価計算ができます。

記

日 時：2019年7月8日(月) 13:00～17:00  
7月9日(火) 9:30～16:30

講 師：税理士 小川 正己氏

会 場：日本経営協会内専用教室  
(東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8)

参加料：会員(1名) 29,000円 } 31,320円  
(負担金) 消費税 2,320円 }  
一般(1名) 32,000円 } 34,560円  
消費税 2,560円 }



申込方法：①FAXまたは郵送申込…裏面申込書に必要事項をご記入の上、下記へお送り下さい。

②Web申込…本会ホームページ上の「セミナーお申込ボタン」を押し、必要事項をご入力下さい。

- ・受付次第、参加券および請求書をご連絡担当者宛にお送りいたします。
- ・開催3営業日前までに参加券が届かない場合は、お手数ですがご連絡下さい。
- ・お申込みは開催日の3営業日前までお願いいたします。
- ・本講座は、定員になり次第締め切らせていただきます。

入金方法：参加料は、請求書にもつぎ銀行振込にてお納め下さい。領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承下さい。

キャンセル：お申し込み後、キャンセルされる場合は必ず事前(3営業日前まで)にご連絡下さい。

開催日の3営業日前～前日のキャンセルは受講料の30%、開催当日のキャンセルは100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承下さい。

その他：参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

お申込み  
お問合せ先



一般社団法人 日本経営協会

(お電話でのお問合せは月曜日～金曜日の9:15～17:15にお願いします)

東京本部 公務研修グループ

〒151-8538 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8

TEL(03)3403-1891(直) FAX(03)3403-1130

E-mail: tks@noma.or.jp URL http://www.noma.or.jp

▶プログラム◀

I 部分別の解説

1. 屋根（和小屋組、洋小屋組について）
2. 基礎（基礎工事の種類について）
3. 外壁（平面の形状、開口部の多少について）
4. 柱・壁体（柱と土台の組み合わせについて）
5. 内壁（間仕切りの多少と基礎の関係、開口部の多少について）
6. 天井（天井の種類について）
7. 床（床組・床仕上について）
8. 建具（標準量および上・中・並の判定）
9. 建築設備（総合評点方式の比例計算および項目別評点方式について）
10. 冷暖房設備（ビルトイン方式・ダクト併用方式）
11. 仮設工事
12. その他工事（雑工事～床の間まで）

II 木造家屋（個別事例の留意すべき評価計算）

1. 吹き抜けのある家屋について
2. 階段部分の床面積の算定
3. 階段部分の評価計算（仕上も含む）
4. バルコニー・ルーフバルコニーの評価計算

5. 「雑工事」の評点付設

6. 「床の間」の評点付設

7. 「仮設工事」（水盛・遣り方、高さの補正は？）

III 補正計算の必要性

1. 比例計算（増点補正と減点補正の算出方法）
2. 基礎の補正に関連する部分別は何か？
3. 柱と土台の関係
4. 1.5m 未満のロフトがあった場合の「施工量の多少」の補正方法は？  
・計算単位の延べ床面積にロフト部分を算入しない場合  
・計算単位の延べ床面積にロフト部分を算入する場合
5. 床仕上について（階段部分）は？
6. スイッチ、コンセント、照明設備の数え方は？
7. 給水・給湯管と使用口の数え方は？
8. 給湯器（追い焚き機能の有無）の評点付設は？
9. 換気設備の評価については？
10. その他

IV 評価演習（専用住宅）

平面図、調査確認事項により一棟の再建築費評点数の算出

V 事例研究（演習）

新築された住宅に対する固定資産税の減額について

持ち物

- ①電卓
- ②H30 単位当り標準評点数の積算基礎（固定資産税務研究会編・（財）地方財務協会刊）
- ③H30 固定資産（家屋）評価基準・再建築費評点基準表（固定資産税務研究会編・（財）地方財務協会刊）
- ④三角スケール

講師紹介

税理士 小川 正己 氏  
2005年 東京都退職  
同年 小川正己税理士事務所開設

合わせての受講で理解が深まります!

【木造家屋・非木造家屋等の評価演習】講座開催案内

9月18日・19日	やさしい非木造家屋の評価基礎実務演習・不明確計算（初級）
9月20日	軽量鉄骨造（居宅）ハウスメーカー建物の評価
10月15日・16日	小規模非木造家屋の評価演習
11月11日・12日	評価担当者必須！非木造家屋の評価演習（明確計算編）
11月13日	区分所有家屋の区分演習 II部
12月2日～4日	家屋の評価実務（見積書分析）

講座申込み：FAX (03) 3403-1130

60012785 『木造家屋の評価の基本（演習）』参加申込書

※NOMA記入

--	--	--	--	--	--	--	--

2019.7/8～9

会員 一般（該当欄にレ印）

役所名		電話	( )	内線	<ご連絡担当者>
		FAX	( )		所属
所在地	〒				フリガナ 氏名
フリガナ 参加者氏名	-----	所属部課 役職名	-----	経験 年数	----- 年 ヶ月
フリガナ 参加者氏名	-----	所属部課 役職名	-----	経験 年数	----- 年 ヶ月
フリガナ 参加者氏名	-----	所属部課 役職名	-----	経験 年数	----- 年 ヶ月

申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。

①参加券・請求書の発送および参加者名簿の作成などの事務処理 ②本会主催のセミナー、展示会、通信教育などのご案内

②がご不要の場合は□にチェックしてください。—— □不要

（経験年数は、現在の部課での年数をご記入ください）